

公 表 日

令和 4年 3月 4日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度松原・下笠ダム高度利用検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所長 中村 星剛 福岡県久留米市高野1-2-2
契約年月日	令和 4年 3月 4日
契約業者名	(株) 東京建設コンサルタント
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
契約金額	20,086,000円(税込み)
予定価格	20,097,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県久留米市高野1丁目2番2号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年 3月 5日
履行期間(至)	令和 4年10月31日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 : 令和3年度松原・下笠ダム高度利用検討業務
2. 履行場所 : 福岡県久留米市高野1丁目2番2号
3. 契約の相手方 : 住所:福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目12番3号
会社名:株式会社 東京建設コンサルタント 九州支社
電話:092-432-8000
4. 契約適用法令 : 会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、筑後川上流部（夜明地点上流）における洪水による浸水被害軽減を図るため、松原ダム下流の河川改修状況等を踏まえた、松原ダム及び下笠ダムの高度利用検討を行うものである。

2) 業務の内容

計画立案	1式
資料収集整理	1式
現地踏査	1式
筑後川河道特性把握・分析、整理	1式
筑後川上流部の氾濫危険箇所の調査・整理	1式
松原ダム洪水流量の確認・検討	1式
松原ダム・下笠ダムの高度利用操作方法検討	1式
高度利用操作の効果検証	1式
高度利用操作時の河川監視方法検討	1式
報告書作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低31者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を23者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する2者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「管理技術者の資格・実績等」「実施方針・実施フロー、工程表、その他」について与条件との整合性について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

筑後川ダム統合管理事務所 管理課長